

質問回答書

2021年12月14日

「(案件名):インドネシア国自動車産業開発プロジェクト」

(公示日:2021年12月1日/調達管理番号:21a00744)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P.16~17: 第2条、第3条 P.18~26: 第6条、第7条	成果1及び2に関連し、「裾野産業(企業)」、「現地企業(P.16 7行目他)」、「中堅・中小企業(P.18 15行目他)」等と表記されているのは、いずれもP.18 7-8行目「 <u>現地裾野産業(Tier 2 又は 3レベルの企業を想定)</u> 」を指していると理解してよいか。	本事業の成果1で記載の裾野産業企業は、主にTier 2 又は 3レベルを想定しております。成果2は、財務大臣規則や税制インセンティブ適用のためのポイントを整理し、現地企業にとって使いやすい制度となるよう、現地企業が参照できる手順(プロトコル)を確立することが目的ですのでこれに沿った活動であれば必ずしも対応の企業レベルをTier 2 または 3レベルに縛るものではありません。
2	同上	成果1に関しては、現地資本のティア1企業に関しても同様のニーズがあると考えられるので、上記下線部の注記は「ティア1企業を除く」という趣旨ではないと理解してよいか。	成果1について、Tier1企業を除外しないものの、裾野産業に広く普及可能なモデルとなることが望ましいです。 本事業の中核としては、インドネシア政府に対する現地の自動車産業発展に効果的な政策策定支援が重要となりますので、この点を踏まえ、どのレベルの企業へどのようにアプローチすることが有効か、また実施方法のご提案をプロポーザルにてご記載いただけますと幸いです。

3	同上	また、Tier2 又は3レベルの企業に自動車部品のR&D&D 機能が期待される事例はあまり想定できないので(特殊な部材や半導体等の分野での可能性を調査する必要はあるが)、成果2 の対象となる裾野産業企業については、日系等外資系を含むティア1 企業も含むこととしてよいか。	上記1 のとおりです。
4	P. 22 (1)事前準備	「詳細計画策定調査」、「先行プロジェクト」とはそれぞれ、「インドネシア国自動車産業開発に係る情報収集・確認調査(2020-2021)」、「インドネシア国国際競争力の高い産業振興の可能性と課題に係る情報収集・確認調査(2017-2019)」のことであると理解してよいか。	「詳細計画策定調査」は、本事業の計画のために JICA が行った調査(現地関係機関等との協議など)を示しています。 「先行プロジェクト」は、「インドネシア国自動車産業開発に係る情報収集・確認調査(2020-2021)」、「インドネシア国国際競争力の高い産業振興の可能性と課題に係る情報収集・確認調査(2017-2019)」を指しています。

以上